

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	1001	1041	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	22	28	ヘルパンギーナ	1	1
咽頭結膜熱	20	18	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	10	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	122	112	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	802	840	流行性角結膜炎(はやり目)	13	15
水痘	121	109	細菌性髄膜炎	0	1
手足口病	12	12	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑(りんご病)	1	7	マイコプラズマ肺炎	1	1
突発性発しん	38	29	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- インフルエンザは、報告数 1001件(前週報告数 1041件)とわずかに減少。地区別では、人吉、宇城、八代に多く報告がみられます。年齢別では、10~14歳の172件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 感染性胃腸炎は、報告数 802件(前週報告数 840件)と減少。地区別では、菊池、山鹿、宇城に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の136件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、報告数122件(前週報告数112件)と増加。地区別では、天草、菊池、熊本に多く報告がみられます。年齢別では 5歳の20件を最多に幅広い年齢層からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	241	8	12	40	170	39	2	1	14			4		12				1
山鹿保健所	11				58	1			1				*	*				
菊池保健所	155	5	3	34	174	20	2		9			1						
阿蘇保健所	26			1	6								*	*				
御船保健所	27	1		1	11								*	*				
八代保健所	136			5	71	14	1		3									
水俣保健所	9		1	1	27	11			2		1		*	*				
人吉保健所	118	1	1	2	50	16			1			1	*	*				
有明保健所	73	6	2	1	105	8	7		3					1				
宇城保健所	138	1		9	90	8			3			2	*	*				
天草保健所	67		1	28	40	4			2			2						
計	1001	22	20	122	802	121	12	1	38	0	1	10	0	13	0	0	1	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	1001		8	35	37	47	69	71	118	55	64	69	172	48	32	68	33	25	24	15	11
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	22	3	8	8	3																
咽頭結膜熱	20		3	5	4	2	3	1	1	1											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	122		4	7	11	16	20	11	13	9	10	16	1	4							
感染性胃腸炎	802	5	48	136	77	65	59	53	47	43	40	38	116	9	66						
水痘	121		8	30	31	20	15	7	7	1	2										
手足口病	12		1	7	2	1									1						
伝染性紅斑	1					1															
突発性発しん	38	1	22	14	1																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	1			1																	
流行性耳下腺炎	10				2		1	1	2		3	1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	13												1		1	4	3	4			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	1			1																	
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- インフルエンザ: 菊池、宇城
- 感染性胃腸炎: 有明、山鹿、菊池、人吉、宇城
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 菊池、天草

風しんが
増加中です!



【風しんが増加しています。】

風しんの患者数が全国で急増しています。県内でも昨年1年間の報告数(5件)を既に上回っています。風しんは2~3週間の潜伏期を経て、発疹、発熱、リンパ節の腫れなどがみられますが、感染しても明らかな症状が出ない場合もあります。子どもでは比較的軽いですが、まれに脳炎などの合併症が起こることがあります。また、大人が感染すると症状が重くなることも多いと言われています。

●妊婦は注意!

妊娠初期に風しんにかかると、赤ちゃんの目や耳や心臓に障害をきたす可能性があります。風しんにかかったら妊婦や、妊娠しているかもしれない人に近づかないようにしましょう。

●予防接種を受けましょう

定期予防接種の対象者は、必ず予防接種を受けましょう。特に第3期、第4期は今月いっぱい接種期間が終了します。時期を過ぎると接種料金は自己負担になります。まだの方は早めに接種してください。
対象者・第1期: 生後12月から24月・第2期: 小学校就学前1年間・第3期: 中学1年生相当・第4期: 高校3年生相当
また、妊婦に感染しないために、妊娠希望者や妊娠の可能性の高い方、妊婦の夫や子どもさん等は、任意で予防接種を受けることを検討しましょう。(妊娠中は風しんの予防接種を受けることはできません。)